

議案第 36 号

令和 3 年度板橋区登録文化財の諮問

上記の議案を提出する。

令和 3 年 8 月 19 日

提出者 板橋区教育委員会教育長 中川 修一

令和 3 年度板橋区登録文化財の諮問

下記の案件を、板橋区文化財として新たに登録・指定することについて、
板橋区文化財保護審議会へ諮問する。

記

1 諮問内容

(1) 有形文化財（歴史資料）

日曜寺田安家奉納仏画

(2) 記念物（史跡）

木下稲荷（藤吉稲荷）

2 諮問理由

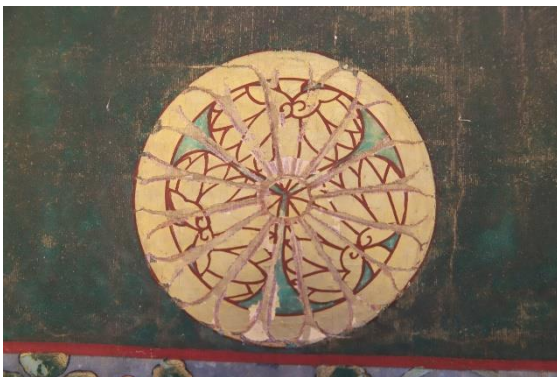
上記案件が、板橋区文化財保護条例第 4 条第 1 項に規定する登録文化財、
あるいは、同条例第 13 条第 1 項に規定する指定文化財のいずれかに該当
すると思われるため、同条例第 4 条第 2 項及び第 13 条第 3 項並びに第 1
9 条に基づき諮問する。

令和3年度板橋区文化財保護審議会への諮問概要

1 新たな文化財の登録・指定

番号	名称	所在地または居住地	所有者・管理者または保持者	種類	内 訳	来 歴 ・ 内 容 及 び 諮 問 理 由
1	日曜寺田安家奉納仏画（にちようじたやすけほうのうぶつが）	大和町42番1号	宗教法人日曜寺（にちようじ）	有形文化財（歴史資料）	3 幅	<p>「日曜寺田安家奉納品」は、徳川8代将軍吉宗の次男で、徳川御三卿の初代田安家当主・田安宗武（たやすむねたけ）とその親類縁者が奉納したと伝わる仏画を一括したもの。内訳は、愛染大曼荼羅（あいぜんだいまんだら）、金剛界曼荼羅（こんごうかいまんだら）と胎蔵界曼荼羅（たいざうかいまんだら）の二幅一対からなる両界曼荼羅（りょうかいまんだら）の3幅である。</p> <p>日曜寺は、光明山日曜寺（こうみょうさんにちようじ）と称し、愛染明王を本尊とする。18世紀初めに有慶比丘（ゆうけいびく）によって開かれたとされる。田安宗武の保護を受け、田安家の祈願寺として繁栄した。</p> <p>19世紀成立の『新編武蔵風土記稿』（しんぺんむさしふどきこう）によると、田安宗武をはじめ正妻の寶蓮院（ほうれんいん）、息子の松平定信らも仏像、仏画等を奉納したことが記されている。なお、区登録有形文化財である「日曜寺扁額」も、松平定信が自らの筆跡を額に仕立てて奉納したものである。</p> <p>当寺は、第二次世界大戦で被災し、山門以外は境内のほとんどが焼失したとされ、寺内にあった仏像や仏画も失われたと伝わっている。ところが、今回、文化財調査を行ったところ、田安家奉納の仏画等が発見された。そのうち、愛染大曼荼羅は絹本着色（けんぼんちやくしよく）、寸法は縦288cm×横194.5cm、両界曼荼羅は紙本着色（しぼんちやくしよく）でどちらもおよそ縦横260cm×220cmの大きさを有する。いずれも描表装（かきびょうそう）の部分に徳川家の葵御紋が金泥（きんでい）で描かれ、一部は菊紋の上に葵御紋が重ねて描かれている。加えて、同じく描表装に金泥で描かれた鳳凰が飛び交い、豪華な装丁が施されている。また、絵師については現段階では不詳であるが、仏画の筆致も非常に精細である点に大きな特色がある。これらの奉納品は、江戸時代中期の板橋区内における日曜寺の活動や、徳川御三卿の田安家との関わりを明らかにする資料として貴重である。</p>
2	木下稲荷（藤吉稲荷）（きのしたいなり・とうきちいなり）	大和町37番1号	宗教法人智清寺（ちせいじ）	記念物（史跡）		<p>智清寺の境内にある小さな社に祭られている稲荷で、木下稲荷（きのしたいなり）または藤吉稲荷（とうきちいなり）と呼ばれている。安永2年（1773）成稿の『江戸図説』（えどずせつ）以降、『四神地名録』（ししんちめいろく）など、江戸時代に広く庶民に親しまれた複数の地誌に記されている。また稲荷社前に縁起を記した石碑があり、それらの記述によると、元和3年（1617）に智清寺の当時の住職によって、境内に稲荷社が建てられたという。その神像は豊臣秀吉が木下藤吉郎と名乗っていた時分から信仰していたものとされ、一説には大坂城落城後、大坂籠城の浪人である高松半平という人物によって智清寺にもたらされたとされる。神像が秀吉ゆかりの稲荷でありその後、立身出世を遂げたことから、木下藤吉稲荷、また木下出世稲荷と称されるようになったという。安政5年（1858）の『五海道中細見記』（ごかいどうちゅうさいけんき）には、板橋宿周辺の名所として描かれている。また、智清寺文書に残る文久3年（1863）の境内図によると、現在とほぼ同様の場所に稲荷社があったことが確認できる。当稲荷社は板橋宿を代表する祈りの場であり、江戸時代以来の庶民の信仰を伝える貴重な史跡である。</p>

1 日曜寺田安家奉納仏画
愛染大曼荼羅



金剛界曼荼羅（両界曼荼羅のうち1幅）



胎蔵界曼荼羅（両界曼荼羅のうち1幅）



2 木下稻荷（藤吉稻荷）



板橋区文化財保護審議会

東京都板橋区文化財保護条例(昭和 58 年 3 月 18 日東京都板橋区条例第 16 号)
に基づき、令和 3 年度板橋区文化財の登録等について下記のとおり諮問する。

令和 3 年 8 月 2 5 日

東京都板橋区教育委員会

記

- | | | |
|---|-----------------|-----|
| 1 | 新たに文化財登録・指定するもの | 2 件 |
| | (1) 有形文化財(歴史資料) | |
| | 日曜寺田安家奉納仏画 | |
| | (2) 記念物(史跡) | |
| | 木下稻荷(藤吉稻荷) | |